

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 16 年 9 月 2 日 (2004.9.2)

【公開番号】特開 2001-22781 (P2001-22781A)
 【公開日】平成 13 年 1 月 26 日 (2001.1.26)
 【出願番号】特願 平 11-197009
 【国際特許分類第 7 版】
 G 0 6 F 17/30
 【F I】
 G 0 6 F 15/40 3 7 0 C
 G 0 6 F 15/419 3 1 0

【手続補正書】
 【提出日】平成 15 年 8 月 22 日 (2003.8.22)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

指示手段と、表示装置と中央処理装置とを有するシステムにおいて実行される地図の対応関係表示方法であって、

上記指示手段を介して選択されたサーバの概要を表すサーバ定義データと上記指示手段を介して選択されたの概要を表すアプリケーション定義データ、及び、該サーバ及び該アプリケーションの上記オブジェクト属性構造データを取得して、上記オブジェクト間の対応関係を自動生成し、

上記サーバ及びアプリケーション各々のオブジェクト階層構造データと、上記自動生成された該オブジェクト間の対応関係、及び、上記指示手段を介して選択された上記オブジェクトのオブジェクト属性構造データを上記表示手段に表示し、

上記指示手段を介して入力された確認操作に基づいて上記対応関係を修正し、確定することを特徴とする地図の対応関係表示方法。

【請求項 2】

上記オブジェクトの対応関係を該対応関係の確定度を線種に反映させて表示することを特徴とする請求項 1 に記載の地図の対応関係表示方法。

【請求項 3】

上記指示入力手段を介して選択された視点に応じて、上記対応関係を表示することを特徴とする請求項 1 に記載の地図の対応関係表示方法。

【請求項 4】

上記対応関係の自動生成は、類義語辞書データを用いて上記サーバ及びアプリケーションのオブジェクトの名称を置換して行うことを特徴とする請求項 1 乃至 3 の何れかに記載の地図の対応関係表示方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 3 3
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 3 3】

次に図 17 では上記変換処理の結果得られるオブジェクトデータを表示して、ユーザの確

認を求めるインタフェイスの表示例を示している。ここでは、アプリケーションオブジェクト表示部にアプリケーションオブジェクト階層構造表示部で示されたオブジェクトのオブジェクトデータとサーバオブジェクト階層構造表示部で選択されたオブジェクトの変換後の図形データを重畳して表示している。一方、サーバオブジェクト表示部には、サーバオブジェクト階層構造表示部で選択されたオブジェクトのみが表示されている。これらの表示部によって、サーバオブジェクトがどのような図形データを持っているか、またその他のオブジェクトデータとともにアプリケーション上で重畳表示したときの様子を確認することができる。以上の表示結果からユーザは所望の地図情報が得られているかを判断でき、これによって、サーバ及びサーバオブジェクトの適切な選択が可能となる。

尚、オブジェクトの階層構造を表示する際にオブジェクトの親子関係の種別によって表示方法を変更したり、最下層のオブジェクトと中間層のオブジェクトを区別して表示することもできる。又、オブジェクトの対応関係を表示する際に、対応付けられたオブジェクトの子オブジェクト以下を省略、オブジェクト間の関連度の高さを表す確定度の順に対応関係を表示することも可能である。